

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡崎校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 3日 ～ 2025年 12月 21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 12月 3日 ～ 2025年 12月 6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 個別療育		・ひとりひとりの困りごとが異なるので、お子様の課題に合わせて支援プログラムを作成している。 ・自己決定を促すために、年に一度誕生日月には自身が取り組みたい課題を決める「お楽しみプログラム」を実施している。	お子様の成長に応じて担当者の変更を行ったり、小集団支援を行うなど、状況が変わっても対応できる力を育むための支援内容を検討していく。
2 保育園・幼稚園・医療機関等との連携		・保育園等、集団生活の場でどのように過ごしているか。また、どんなことに困っているかを圖と情報共有する場を設けている。	一部の保育園、幼稚園に訪問し普段の様子を見学することが出来た。引き続き圖と連携し情報の共有を行っていく。
3 SNS等による情報発信		・毎日のInstagram投稿や、毎月の出来事の振り返り、イベント案内、支援の様子など「きらり」岡崎校の様子について情報の発信を行っている。	より多くの人に見ていただくために、引き続き発信を行い、「きらり」岡崎校を「見てみたい」「行ってみたい」と思っただけできるよう発信をおこなっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 支援室の上部が開放されているため、隣室の音が聞こえてしまう		集中して課題に取り組みたい時間に気が散ってしまう場面も見られるが、支援室の構造上変えることができない。 虐待防止の観点からも塞ぐことが難しい。	状況や、課題に応じて使用する部屋を変更するなど臨機応変に対応していく。
2 保護者向けのイベントがない		特に就学に向けて不安に思っている保護者が多いため、集団の相談会を行いたいと考えているが、時間とスペースの確保が難しい。	同じ悩みを持つ保護者同士で情報共有が出来るようなイベントを企画していく。イベント実施日については希望を募り調整していく。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡崎校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 6

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	0	もう少し体を動かせるスペースがあると嬉しい	可能な限り支援室広くを使用いただき、しっかりと体を動かせるようなスペースを確保できるよう工夫してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	1	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	1	0	1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	1	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	2	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	1	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	2	0		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」岡崎校		2026年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令順守に則りスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員やお子様の状況に応じて、担当者の変更を行い対応させていただきます。	新規開校に伴い、職員の異動があったためご迷惑をおかけしております。早急に人員の補充をいたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレ、洗面台以外はバリアフリー化となっております。事務所の入口に段差があるため事務所に入る前に注意をするよう声掛けを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		心地よく過ごしていただけるよう、清掃、整理整頓を行い、壁面にも季節の飾りを施し季節を感じていただけるように努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		課題や状況に応じて使用する支援室を変えることが出来るように調整しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員が参加できるよう、全員が出勤する水曜日に職員会議を設け話し合いを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いただいた評価表を職員会議で共有し、業務改善に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回以上の職員会議を行い、業務改善に向けて取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価を行なっていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修に加え、外部の研修にも参加する機会を確保しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP にて支援プログラムを公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		課題やニーズを踏まえ支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に関わる職員と共通理解の下、検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用し、お子様の状況を確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数職員で活動プログラムを考えています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その時の状況に応じ、臨機応変に対応できるよう内容は複数用意するなど工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援が基本ですが、状況に応じて小集団での活動を取り入れるなどして支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日打ち合わせを行い、その日の利用者様についての確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		適宜振り返り、打ち合わせを行い共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録を取り、支援の改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い内容の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者をはじめ、お子さんに関わる職員が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療体制について、協力医療機関の変更を行い、より連携して対応をして参ります。	地域の教育関係との連携を進めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			一部の利用者様については、園、他事業所、きらりでの活動を共有し、支援の内容について確認する機会を作り相互理解を図っています。出来るだけ多くの利用者様についても同様に行っていけるよう努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		適宜情報の共有が出来るように努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		現在のところ助言を受ける機会は設けていません。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		利用者が通園している保育所等に出向くことはありますが、個別療育を希望される方が多いため地域の中で他のお子さんと活動する機会はありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援毎にフィードバックを行い、お子様についての共通理解を持てるよう努めています。状況に応じて家族支援を行い、より深い話し合いが出来る機会を設けています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアレント・トレーニングは行っていないですが、保護者向けの勉強会を行い情報の提供を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご利用開始時に説明を行っています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングを通じてご家族様のご意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		内容の説明を行い、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族から子育てについてのお話がある場合は、都度面談を行い支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者向けの勉強会の実施、交流の場を設けるなどの企画を行っています。	父母の会の活動を行っていないため支援はしていません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		担当職員に申し入れがあった場合も、職員間で連携し迅速に対応いたします。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagram、HP内にブログを掲載し、保護者様に発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠保管を行い取り扱いに留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的にも分かりやすく、情報伝達ができるように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	イベントを行っていないため、地域住民の招待等は行っていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは策定し、訓練を行っています。訓練の様子をSNSにて発信し周知を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご契約時、毎回のご利用開始前に、お子様の状況について詳しく伺い、確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食品の提供はしていないため特に対応する機会はありませんが、ミニイベント等でお菓子を配布する場合は保護者様に情報共有しお菓子の取り扱いに注意して頂いています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		待合室にて掲示し周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員全員が閲覧できるようにしています。また、再発防止について話し合いを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の機会を設けています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画に記載し、説明の際に保護者様より同意をいただいています。	